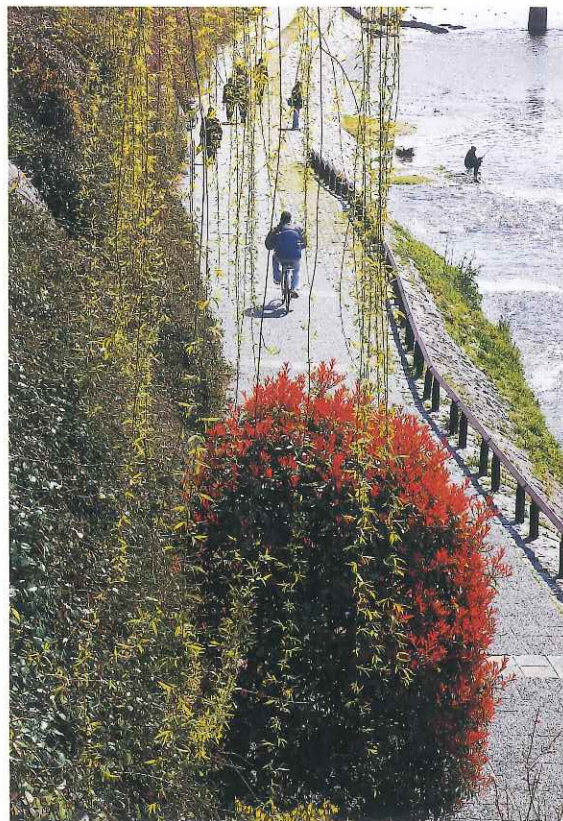


京都新聞社賞



「ふたりの時間」 長瀬 英俊
府立植物園(京都市左京区)

エフエム京都賞



「川辺の散歩道」 塩見 芳隆
鴨川四条大橋付近(京都市東山区)

KBS京都賞



「八朔の日」 酒本 光雄
白川巽橋付近(京都市東山区)

NHK京都放送局賞



「ようこそ京へ」 田中 靖一
京都駅付近(京都市下京区)

富士フィルム(株)賞



「しだれ桜のトンネル」 井上 重継
半木の道(京都市左京区)

優秀賞



「花園」 真鍋 豊
府立植物園(京都市左京区)



「春休み」 疋田 真也
嵐山東公園(京都市西京区)



「家族」 深井 賢二
京都府生物資源研究センター(精華町)

佳作



「霧に包まれて」 谷口 貴章
峰山途中ヶ丘公園(京丹後市)



「復活の賜わい」 小見山 恵美
白川唐戸鼻橋付近(京都市東山区)



「じいちゃん夢中」 西村 武
鴨川賀茂大橋付近(京都市左京区)



「日傘にしようかな」 南井 さつき
中京区内(京都市中京区)



「緑の下で川遊び」 中山 晃一
堀川一条戻橋付近(京都市上京区)



「もっと高く上げれ」 三浦 昭治
府立植物園(京都市左京区)

佳作



「若葉の木の下で」 立山 明宏
宇治公園(宇治市)



「木影のひととき」 清水 一文
高瀬川四条通付近(京都市下京区)



「癒しの春」 松原 克次
背割堤(八幡市)



「木陰でひと休み」 高橋 利樹
宝が池公園(京都市左京区)



「新緑の滝」 岸村 守
京丹後市内(京丹後市)



「移ろい」 野口 昭一
琴滝公園(京丹波町)

佳 作



「涼んでいってね」 本庄 剛三
京都御苑(京都市上京区)



「緑の水路」 余田 功
宇治川派流(京都市伏見区)



「夏の石段」 岩本 裕之
知恩院(京都市東山区)



「健やか」 北 正弘
鴨川賀茂大橋付近(京都市左京区)



「何かいるよ!」 和田 和子
広沢池付近(京都市右京区)



「彩りと香り」 湯浅 登代丸
府立植物園(京都市左京区)

佳作



「メタセコイアのトンネル」 高田 慶昭
森林総合研究所(京都市伏見区)



「大階段」 高木 周一
太陽が丘(宇治市)



「花と水のタペストリー」 近藤 邦雄
宇治市植物公園(宇治市)



「見とどけて」 高原 修
右京区内(京都市右京区)



「水路」 伊藤 徳三
伏見区内(京都市伏見区)



「ある街角で」 神内 宏輝
中京区内(京都市中京区)

第26回 京都まちとみどり写真コンクール講評

審査委員長 木村 尚達(京都写真家協会会長)

総評

今回の応募作品の傾向は、デジタル撮影が多くなってきたことであります。ますますこの流れは止めることができず、デジタル画像処理技術や撮影知識の習得がさらに要求されます。前年の審査でも気になっておりましたプリントの質はあまり改善されたとはいえ、今後一層の努力を望むところであります。「どうすれば自然の色が再現できるのか?」自問する姿勢が必要ではないでしょうか?また、一点の作品に応募するにも、隅々まで細心の注意を払う丁寧さを身につけて欲しいと思いました。

1 京都府知事賞 「エコなすだれ」

ビルの遮光と断熱のために植えられた蔓性の植物が見事にエコ効果を発揮しています。そんな光景をしっかりとらえ、レトロな手動ポンプと太陽のゴーストを配し「水と太陽」を象徴させた意図がはつきり伝わってきます。また色調、コントラスト、構図も素晴らしく良い作品に仕上がっています。

2 京都市長賞 「光の天の川」

京の七夕イベントのひとつまででしょう、エコ照明のLEDが夏の夜を鮮やかに演出しています。写真的には、暮れゆく空、人工的な光のトンネル、人々の流れの三つをバランスよく考え撮影された技量と構図の選択は大変素晴らしく、高く評価できます。

3 特別賞(京丹後市長賞) 「芝桜咲く頃」

芝桜のピンクのベルトが放射状に流れ、電車が良い位置に配されています。早苗の揃った田圃や背景の山並みが美しい自然を表し構図的にしっかりした良い作品です。

4 財京都府公園公社理事長賞 「子供達」

満開の桜に露光を合わせた春爛漫の風景写真です。逆光でとらえた人物のシルエットと桜の立体感は写真ならではの質感を表現しています。緑と水の中で楽しく遊ぶ子供たちの声が聞こえて来るような優れた作品です。

5 財京都市都市緑化協会理事長賞 「晩秋の朝」

秋の色調で統一された構図的にしっかりした作品です。ジョギングする白い人物が非常に印象的で公園の美しさや空気感を表現しています。また半逆光の光線が落葉の質感をより一層強調しており質の高い作品です。

6 社京都府造園建設業協会賞 「プチコンサート」

一本の桜を取り囲む手入れの行きとどいた緑のサークル。肌寒い春の陽だまりに集う音楽愛好家たち。プチコンサートでの「音楽と造園の調和」を表現した心温まる作品です。

7 京都市市長会会長賞 「新緑の糺の森」

梅雨のひとつと休みでしょうか、まさに緑一色の静かな風景です。明るい緑から暗い緑までのグラデーションを表現したところがこの作品の優れたところ。さらに人物が森のスケールの大きさを強調して効果的です。

8 京都府町村会長賞 「一列になって」

美しい紅葉の秋の日、園外保育のシーンでしょう。緑とオレンジの中を規則正しい間隔で歩む白い服装の園児たち。アニメのひとつを思い起こさせます。構成のしっかりした楽しい作品です。

9 京都新聞社賞 「ふたりの時間」

植物園で憩う老夫婦を自然なポーズでとらえたヒューマンな写真です。空間に人物と一本の木を画面中央に生かして配したところが新鮮です。伝えたいものをはっきり主張できた素晴らしい作品です。

10 KBS京都賞 「八朔の日」

水と緑の中に人物を配した京都らしい光景です。八月一日の行事を良いタイミングでとらえています。また右端の朱色もより京都らしさを引き立てています。

11 エフエム京都賞 「川辺の散歩道」

カナメの赤い新芽と柳の新緑を前景に配置し、よく整備された遊歩道に行く人々の配置も良く、縦位置の構図でとらえた上手い作品です。右の釣り人もたいへん効果的です。

12 NHK京都放送局賞 「ようこそ京へ」

JR京都駅舎のミラー効果を活かし、デザイン的に洗練された良い作品です。建物に映った京都タワーを背景に緑の木が主役を演じているところが都市緑化のイメージを強調しています。

13 富士フィルム株賞 「しだれ桜のトンネル」

桜のトンネルをストレートにとらえた躍動感のある作品です。画面上半分は伸び伸び育った枝や花、下半分には構築された棚と行楽客、左下には賀茂川の水もうかがえ季節感があふれています。

14 優秀賞 「花園」

白いシャガの花に囲まれ白いベレー帽が二つ。遠足の園児たちでしょうか?明るい声が聞こえて来るような心躍る作品です。右上の紅い石楠花が画面を晴れやかにしています。

15 優秀賞 「春休み」

題名の「春休み」そのものずばりの作品で好感が持てます。木に登った少年と下の少年との会話やサッカーボールで遊ぶ母子など登場人物がそれぞれの役割を果たしています。

16 優秀賞 「家族」

カラフルなチューリップ畑の中を歩むママと子供たち、パパが横から撮ったような幸せそうな写真です。白い風車が語りかけるようで画面を引き締めています。



第26回京都まちとみどり写真コンクール入選作品集

平成23年3月発行

発行・編集／京都府都市計画協会・(財)京都市都市緑化協会 印刷／株式会社廣濟堂